

リスクガバナンスとコミュニケーションの新展開 新興感染症、自然災害、気候変動への複合的対応

企画：東京大学 STIG、大阪大学 STiPS

2021.2.16 (火) 18:00～20:00

Zoomにて開催

特設HP <https://www.scirex-openforum.info/>

日英同時通訳

シリーズ第八回概要

今日、グローバル化やインフラシステムの相互依存の増大といった多様な環境要因の変化により、社会が直面するリスクは複合化の様相を呈しています。こうした複合的な事態にいかに対応し、レジリエントな社会を構築するかは、ガバナンス上大きな課題といえます。そこで、本セッションはこの問題を考えるため、日本が直面した(している)分野の異なる3つの複合リスク—新興感染症、自然災害、気候変動、を取り上げます。各分野を横断的に比較検討することにより、各リスクの特性・スコープ等の差異と共通点を導出し、求められるガバナンスやリスクコミュニケーションのありかたを議論します。ガバナンス上は、科学的エビデンスと政策決定の課題（評価と管理の分離・相互作用の実態、制度の横連携を阻害する行政上・研究上の要因）といったことが議論の対象として想定されます。また、コミュニケーションでは科学的知見・リスクを社会にどう伝えるかといったことはもちろんのこと、人々がいかに自分で事としての認識共有をどうするか、といった課題も取り上げます。

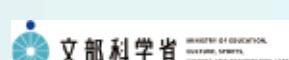
お問い合わせ

オープンフォーラム運営事務局 : scirex-openforum@nagoya-nsc.co.jp

主催



共催・協力



SciREX拠点大学・関係機関

登壇者



田中幹人

早稲田大学 政治経済学術院 准教授



森川想

東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻講師
政策研究大学院大学 SciREX センター特任フェロー



江守正多

国立環境研究所 地球環境研究センター 副センター長

パネリスト



城山英明

東京大学公共政策大学院 / 法学政治学研究科教授



平川秀幸

大阪大学 CO デザインセンター教授

司会



松尾真紀子

東京大学公共政策大学院特任准教授

科学技術イノベーション政策は、大きな転換点を迎えています。政策が対象とする範囲は、科学技術のみならず、デジタル技術の急速な普及による社会の変化への対応や、SDGsのように複雑で多様な社会課題への貢献など広がりを見せ、多様なステークホルダーの参画や共創が求められています。更に、新型コロナウイルスの発生は、政策と科学のコミュニケーションや相互の信頼、そしてエビデンスに基づく政策決定について、一部の専門家のみならず、広く社会に対し問題を提起するものとなりました。また、ポストコロナにおける課題解決のための研究開発の振興、人材育成の在り方、サイエンスコミュニティそのものの多様化など、様々な側面で従来とは異なる新たな展開の必要性を突き付けています。今、科学技術イノベーション政策として、何が求められているのでしょうか。政策と科学の関係性はどう進化すべきでしょうか。国内外の動向を紹介するとともに、2011年度から実施してきた文部科学省補助事業・科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」（SciREX事業）における取り組み等も紹介しながら、セミナーシリーズとして多岐にわたる角度から議論します。

スケジュール

4 テーマ・11 セッションを、2020 年 12 月下旬～2021 年 3 月にかけて開催します。

テーマ：【1】政策と科学の関係、【2】EBPM、【3】人材育成、【4】共進化

M：GRIPS SciREX センター主催のメインセッション P：各拠点・関係機関からの提案セッション

#	日時	テーマ	企画者	セッション名等
1	12/22（火） 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター	M1：科学と政治、政策
2	1/11（月） 18:00-19:30	【3】	九州大学 CSTIPS	P1：九州大学CSTIPSにおけるSTI政策専修コースの7年間を振り返る
3	1/18（月） 18:30-20:00	【2】	GRIPS SciREXセンター	M2：科学技術イノベーション政策におけるEBPM実現の展望
4	1/21（木） 18:00-19:30	【2】	京都大学 STiPS	P2：EBPMに向けた自治体との連携による健康、医療のデータ活用
5	1/26（火） 18:30-20:00	【1】	JST 社会技術研究開発センター	P3：アフターコロナの政策のための科学に向けて - リスクモデルと経済モデルの統合可能性-
6	2/5（金） 18:00-19:30	【3】	GRIPS SciREXセンター 日英同時通訳	M3：変わりゆく科学技術イノベーション政策のエコシステムと人材育成
7	2/12（金） 18:30-20:00	【3】	GRIPS GiST・SciREXセンター 東京大学 STIG	M4：科学技術イノベーション政策人材育成の現在と未来
8	2/16（火） 18:00-20:00	【1】	東京大学 STIG 大阪大学 STiPS 日英同時通訳	P4：リスクガバナンスとコミュニケーションの新展開—新興感染症、自然災害、気候変動への複合的対応
9	2/17（水） 18:00-20:00	【4】	GRIPS SciREXセンター	M5：政策と科学の共進化—その望ましい姿と現実、次のステージに向けて—
10	3/9（火） 18:30-19:30	【1】	GRIPS SciREXセンター 日英同時通訳	P6：科学技術外交
報告会	2/17（水） 時間調整中	【4】	文部科学省	P5：研究開発プロジェクト報告会

※日程やセッション名など、随時更新

対象者

科学技術イノベーション政策に関心のある政策立案関係者、研究者、企業、NPO 等
マルチステークホルダーによる政策形成や推進に向けて、
多様な方々のご参加をお待ちしております。